

平成8年度(1996年度)事業報告

I. 事業の状況

1996年度の企業メセナの動向を分析すると、次のような特徴がみられます。

(1) 企業のメセナ活動にやや上向きの傾向。
『メセナ白書1996』によれば、企業の資金援助額は、1社平均援助額が前年の7546万円から9665万円に増加し、前年度と比較して支援金額が明らかに増えました。また、企業が「減少した」した企業より大幅に増えている支援金額は、54%が30万円以下で全体助成認定事業の結果をみますと、1件当たり1件当りの支援金額は、200万円以上のものである、高額の支援が増えてきています。即ち、1件当たりの支援金額が、95年度では全体の7%、31件でしたが、96年度は10%、70件になっています。このようにみまると、企業メセナはまだまだ厳しい状況にはありますが、やや好転の兆しが窺われるといえましょう。

(2) 企業メセナは多様化。
「メセナ大賞96」は過去2番目に多い182の案件の応募があり、マスコミの取り上げかたにみられるように、「メセナ大賞」に対する社会的評価が高まってきたと見て、今後ますます多様な支援主体からの応募があります。商工会議所や経団連等の経済団体、労働組合、学校法人、市民による任意の支援団体など、このように企業メセナは多様化してきています。今後ますますメセナは多様化していくことが予想されます。

(3) 地方メセナも徐々に拡大。
地元の企業有志によって地域の文化の振興に協力するためメセナ組織を結成しようとする動きが、各地の企業人や芸術文化振興財団、行政、市民等の間にみられますが、実現までにはかなりの時間がかかるのが実情です。その中であって、96年度は新たな地方メセナ組織として「甲府メセナ協会」と横浜に「中区メセナ活動推進懇話会」、青森に「JAZZメセナ野辺地」が発足しました。メセナが地方に徐々に広がっているといえましょう。

(4) 地方でアート・マネジメント講座開催が増加。
「よこはまメセナ研究会」が7回シリーズのアート・マネジメント講座を開講したほか、企業の支援で岡山、福岡、札幌等の各地で同講座が開催されました。いずれの講座も多数の参加者があり、講座開催が渴望されていると思われまます。

(5) アジアにおけるメセナネットワークづくりがスタート。
当協議会が95年に開催した「国際メセナ会議'95」でアジア版セレクトの設立が構案されましたが、96年11月に韓国で開催された国際会議で「アジアにおけるメセナ国際交流ネットワーク組織」発足が決定し、設立のための作業委員会がオーストラリアで開かれ、いよいよネットワークづくりがスタートしました。

このような状況の中、当協議会は、以下のような活動を重点的に実施しました。

(1) 啓発・普及事業を関西でも実施しました。96年度からメセナ入門編とが一本となり、大阪でも開催し、関西の会員に対するセミナーの充実を努めました。

(2) 活発化した各社のメセナ活動の情報を会員相互に提供するため、『ニュースレターM's』に掲載し会員企業に紹介しました。

(3) 各企業のメセナ支出が税制上の優遇措置の対象となるよう、助成認定事業のPRに努め、その結果、96年度は延べ661社が当協議会を經由しての支援活動を行いました。

(4) 各地のアート・マネジメント講座の内容構築に協力いたしました。

(5) 「アジアにおけるメセナ・国際交流ネットワーク」づくりに関しては、アジア各国と協力して推進しています。

(6) 当協議会の運営上、会員増を促すことは喫緊の課題であります。と同時に、会員企業や芸術団体に、より役立つ活動をするために運営委員会の設置を検討いたしました。96年度は、これら問題の検討のために運営委員会の設置と経費の削減を図りました。

(7) 年度計画に反映させられています。文献、企業や企業財団のメセナ活動情報、助成認定に関する芸術団体情報等を蓄積してきていますが、これらの情報は会員企業等に十分活用されるまでには至っていません。96年度は資料の整理を行い、資料の有効利用を図れるよう情報提供の体制を整えました。

以下、事業並びに収支結果についてご報告いたします。

1. 事業報告

当協議会の1996年度の活動状況につき、その概要をご報告いたします。

1.1 事業報告

1.1.1 会員数状況

会員数は、3月31日現在、正会員 172社 464口、準会員44団体47口となり、1995年度末に比べ、正会員 3社、準会員 5団体増となっております。なお、正会員については、1996年度期首に比べますと 3社減、今年度目標口数に対しては18口不足となります。

1.1.2 事業実施状況

① 啓発普及事業

会員企業のメセナ担当者を対象とするメセナセミナーは95年度に引き続き、新しくメセナ担当者になった方への「メセナ入門編」、メセナ担当者が相互に現状について報告し、ノウハウを公開しあう「メセナの現場は今―ケーススタディ編」、メセナ業務推進のためより専門的な知識の修得をめざす「アートをまなぶ」の3コースを実施いたしました。特に、96年度から関西地区の会員に配慮し、入門編とケーススタディ編を松下電器、アサヒビール、住友生命のご協力を得て大阪で開催しました。なお、東京で開催したセミナーは資生堂、日産自動車、麒麟ビール、フィリップ・モリスの各社のご協力を頂きました。今年度の「アートをまなぶ」は音楽を取り上げ、10回シリーズで9月からスタートしました。

② 情報集配・仲介事業

機関誌『メセナ』では春号でNPO、夏号でインターネット、冬号ではビジネスマンのための現代アート講座など、今話題の問題を特集しました。また、会員へのニュースレター『エムズ』では会員企業のメセナ活動を紹介するなど、会員間の情報交換に努めました。

当協議会には90年以降のメセナに関する記事・文献が保管してあります。また、メセナ大賞に応募した企業情報をはじめ種々の企業や企業財団のメセナ情報が集まっています。しかし、これまで、これらの情報は未整理のため、企業や芸術団体、一般のメセナ研究家に十分活用されていませんでした。96年度はこれらの情報を整理し、情報提供の出来る体制にしました。

③ 調査・研究事業

『メセナ白書1996』の特集は「企業の芸術文化施設」にスポットをあて、企業、アーティスト、観客の立場から企業の芸術文化施設の現状と課題を明らかにしました。また、企業のメセナ活動実態調査では資金援助額等に増加傾向がみられるなど、企業メセナを巡る環境が好転しつつあることが窺える結果が得られました。

④ 顕彰事業

「メセナ大賞96」は過去2番目に多い142団体・企業から182の案件が応募しました。今回の応募は企業や企業財団以外からも多数あり、メセナの多様化を示しており、今後のメセナ大賞の在り方に課題を提起したものでした。

⑤ 国際交流事業

アメリカBCA主催の国際会議が6月12,13日にニューヨークで開催され、根本専務理事が出席しました。また、11月21~22日にソウルで韓国メセナ会議が開催され、福原理事長、根本専務理事が出席しました。この会議でアジアのメセナ組織設立が決まり、そのための第1回作業委員会が1997年1月にオーストラリアで開かれ、根本専務理事がメンバーとして参加しました。

⑥助成事業

選考委員会を6回開催しました。申請件数は125件（前年比135.9%）、認定件数は109件（136.3%）です。当協議会をスルーした助成金は目標14,514万円に対し55,710万円となり目標に対し383.8%で達成いたしました。

⑦中期構想

地方におけるメセナ組織のネットワークづくりと企業の若手メセナ担当者の育成を中期構想として打ち出していましたが、96年度は新たに甲府と横浜、青森の野辺地にメセナ組織が誕生しました。「全国メセナ組織連絡会」は会報を2回発行し、第2回全国会議の開催を97年4月に実施するための諸準備を行いました。また、若手メセナ担当者の交流を目的とした「若手交流会」は曾根裕氏を講師にアトセミナーを開催しました。

2. 収支報告

2.1 収入

当期収入予算27,780万円から助成金収入14,514万円を差し引いた、実質収入予算13,266万円（会費収入12,640万円、事業費収入506万円、雑収入120万円）に対し、12,816万円（会費収入12,154万円、事業費収入622万円、雑収入40万円）計画比96.6%の実績となりました。なお、助成金収入予算14,514万円に対する収入実績は55,590万円、計画比383.0%、当期収入実績合計は69,994万円、計画比237.1%です。

2.2 支出

前述の助成金を除く事業費予算は6,220万円、管理費予算は6,950万円ですが、実績は事業費6,228万円、計画比100.1%、管理費7,268万円、計画比104.6%となり、事業費と管理費合計は計画比102.5%となりました。また、助成費は14,514万円の予算に対して実績は55,710万円、計画比383.8%です。

1996年度上半期の貸借対照表及び収支計算書、正味財産増減計算書、財産目録は別紙の通りです。

1996年度事業実績

(敬称略)

1. 啓発、普及事業

1.1 セミナー

- ① 4月18日 「メセナセミナー入門編」 関西編
講師 北川恵（松下電器）、加藤種男（アサヒビール）
於 大阪・アサヒビール大阪支社 23名
- ② 5月13日 「メセナセミナー入門編」
講師 柿崎孝夫（資生堂）、島田京子（日産自動車）
於 東京・朝日スクエア 22名
- ③ 6月28日 「ケーススタディ 住友生命」といずみホール見学
講師 井上小太郎
於 大阪・住友生命城見ビル 12名
- ④ 7月12日 「ケーススタディ キリンビール」とキリンアートスペース見学
講師 伊藤義久
於 東京・キリンビール原宿本社 18名
- ⑤ 10月 7日 「ケーススターディ 三洋電機」
講師 藤江順一
於 大阪・プラザホテル 12名
- ⑥ 11月11日 「ケーススタディ 日本生命」とオペラ教室「夕鶴」鑑賞
講師 竹下俊一
於 東京・日本生命日比谷ビル 14名
- ⑦ 2月21日 「ケーススタディ フィリップ モリス」
講師 穎川道子
於 東京・フィリップ モリス本社 15名
- ⑧ 9月26日 「アートをまなぶ 音楽講座10回シリーズ」
「歌の発明」
講師 茂手木潔子（上越教育大学教授）
於 国際交流基金国際会議場 63名
- 10月 3日 「現代における楽器の発明」
講師 小沼純一（音楽評論家）、御喜美江（アコーディオン奏者）
- 10月15日 「伝統と創造」
講師 木戸敏郎（元国立劇場演出室長）
- 10月31日 「ジャンルを越えるアート」
講師 藤本由紀夫（美術家）
- 11月 5日 「音楽の役割と終焉」
講師 小沼純一
- 11月19日 「音楽の消費構造」
講師 小沼純一
- 11月27日 特別講演「音楽芝居の可能性」

- 講師 ハイナー・ゲッペルス (作曲家)
 於 ドイツ文化センター
 12月 5日 「ポリフォニーの社会性」
 講師 今福龍太 (中京大学)
 12月12日 「フェミニズム音楽論」
 講師 小林緑 (国立音楽大学教授)
 12月17日 「奏法の多様化」
 講師 佐藤紀雄 (ギタリスト)

1.2 ギャラリー散歩・施設見学

- ① 4月19日 訪問先 アサヒビール大山崎山荘美術館と長沢英俊「京の町屋」展
 17名
 ② 6月20日 訪問先 ファーレ立川
 12名
 ③ 10月 4日 訪問先 東京国際フォーラム
 80名

1.3 通常総会特別講演会

- ① 6月17日 演題 東京国際フォーラムの概要と今後の運用
 講師 東京国際フォーラム総支配人 榎木信一
 於 経団連会館
 ② 3月26日 演題 「アサヒビール株式会社のメセナ活動」
 講師 アサヒビール株式会社社長 樋口廣太郎
 於 東京・朝日スクエア

2. 情報集配・仲介事業

2.1 『メセナ』誌の発行

- ① 4月20日 24号発行 特集「NPOって何? アート界への影響を考える」
 ② 7月20日 25号発行 特集「アート界を揺るがすインターネット」
 ③ 10月20日 26号発行 特集「企業の芸術文化施設を考える」
 ④ 1月20日 27号発行 特集「ビジネスマンのための現代アート講座」

2.2 『ニューズレター M's』の発行

- ① 6月 1日 第18号発行
 ② 9月 1日 第19号発行
 ③ 12月 1日 第20号発行
 ④ 3月 1日 第21号発行

3. 調査研究事業

3.1 『メセナ白書1996』の発行

- 10月21日 メセナ白書記者発表
 10月14日 発行 特集「企業の芸術文化施設」 6000部

4. 顕彰事業

4.1 メセナ大賞'96

- ① 4月 1日 募集要項発表
 ② 7月 5日 応募締切 応募件数 182件 (142企業、企業財団)
 ③ 9月11日 第1回審査委員会
 ④ 10月 7日 第2回審査委員会

- ⑤12月 4日 記者発表
 ⑥12月 6日 メセナ大賞贈呈式 於 東京・朝日ホール 350名

5. 国際交流事業

5.1 派遣

- ① 9月9～17日 フランス視察団派遣調査打ち合せ
 派遣者 熊倉純子課長

6. 国際会議

- ① 6月12～13日 国際メセナ会議
 於 ニューヨーク・BCA
 出席者 根本専務理事、河合事務局員
- ②11月21～23日 韓国メセナ会議
 於 ソウル
 出席者 福原理事長、根本専務理事
- ③ 1月31日 アジアにおけるメセナ国際交流ネットワーク組織作業委員会
 ～2月1日 於 メルボルン
 出席者 根本専務理事

7. 助成事業

① 6月 7日	第1回助成選考委員会	申請件数	22件、認定件数	21件 -
② 7月29日	第2回		26	19
③10月 4日	第3回		18	17
④12月 2日	第4回		13	11
⑤ 1月24日	第5回		14	12
⑥ 3月21日	第6回		32	29
		合計	125	109
	助成金額	55,590万円 (計画比383%、前年比179%)		
	寄付件数	661件 (前年比154%)		
	1件当り寄付金額	84万円 (前年比117%)		

8. 中期構想

8.1 若手担当者育成

- ① 9月 9日 曾根裕氏によるアートセミナー
 講師 曾根 裕
 於 東京芸術劇場 13名

8.2 全国メセナ組織

- ① 7月 1日 ニュースレター1号発行
 ②11月 1日 2号発行
 ③11月17日 甲府メセナ協会発会式 記念講演 根本専務理事

以 上

II 処務の概要

1. 役員に関する事項

平成8年度末現在役員

役員	氏名	就任年月日	担当職務	手 当	略 歴
理事	西尾 信一	1990.2.14	会 長	65万円	第一生命会長
	佐治 敬三		副会長		サントリー会長
	塚本 幸一		〃		ワコール会長
	堤 清二		〃		セゾンコーポレーション会長
	樋口廣太郎	1994.4.1	〃		アサヒビール会長
	福原 義春	1990.2.14	理事長		資生堂社長
	石川 六郎	1990.2.14			鹿島建設名誉会長
	稲盛 和夫				京セラ会長
	大賀 典雄				ソニー会長
	中江 利忠				朝日新聞社社長
	那須 翔	1996.4.1			東京電力会長
	端田 泰三	1996.4.1			富士銀行相談役
	根本長兵衛	1990.2.14	専務理事		共立女子大教授
	椎名 武雄	1990.7.11			日本アイ・ピー・エム会長
	柴田 俊治				朝日放送社長
	金子 尚志				日本電気社長
	竹中 統一				竹中工務店社長
	豊田章一郎				トヨタ自動車会長
	後藤 康男	1991.4.1			安田火災海上会長
	鶴田 卓彦	1996.4.1			日本経済新聞社社長
松橋 功			日本交通公社社長		
山口 開生			日本電信電話会長		
小林陽太郎	1994.4.1		富士ゼロックス会長		
北島 義俊			大日本印刷社長		
大西 正文	1996.4.1		大阪ガス会長		
小林庄一郎			関西電力会長		
福川 伸次	1995.4.1		電通総研社長		
監事	奥田 正司	1996.4.1		第一勧銀会長	
	今村 治輔	1994.4.1		清水建設社長	

2. 職員に関する事項

職 務	氏 名	就任年月日	担当事務	手当 (月額)
事務局長	岩瀬 慶孝	1994.4.1	総務・事業	11万円
〃 次長	高井 光子	1990.2.14	会計・事業	50
	熊倉 純子	1993.4.1	事業	30
	野呂 健男	1990.2.14	事業	25
	久保田 大介	1992.4.1	事業	25
	河合 晴子	1995.10.21	事業	21
	武田 直樹	1995.12.21	事業	22
事務局次長	長南 巖	1994.4.1	事業	なし
	安達 伸彰	1996.4.1	事業	なし

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開会年月日	議 事 事 項	会議の結果
1996. 6.17	1. 新会員承認の件 2. 1995年度事業並びに収支決算報告の件	可 決 可 決
1996.12.13	1. 新会員承認の件 2. 理事選任の件	可 決 可 決
1997. 3.26	1. 新会員承認の件 2. 理事選任の件 3. 1997年度事業計画並びに収支予算案の件 4. 役員（有給）退職に関する規程	可 決 可 決 可 決 可 決

(2) 総会

開会年月日	議 事 事 項	会議の結果
1996.6.17	1. 1995年度事業並びに収支決算報告の件	可 決
1997.3.26	1. 理事選任の件 2. 1997年度事業計画並びに収支予算案の件	可 決 可 決

4. 許可、認可及び承認に関する事項

該当なし

5. 契約に関する事項

該当なし

6. 寄付金に関する事項

寄付の目的	寄付者	領収金額	備 考
企業メセナ協議会 認定活動への助成	アイシン精機(株)ほ か 543社	5 5 5 9 0 万円	黒川紀章回顧展 ほか109件を助成

7. 主務官庁指示に関する事項

該当なし